

新春恒例

第24回チャリティカレンダー市

認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワークでは、1997年より各地から寄贈いただいたカレンダーを安価（100円より）で提供する活動を続けています。2020年も下記によりチャリティカレンダー市を開催いたします。

記

1. 開催日時 2020年1月10日（金） 10:00～18:00
 1月11日（土） 10:00～18:00
 1月12日（日）最終日 10:00～14:00

2. 会 場 西宮市役所東館8階大ホール
 西宮市本庁舎東側（公共の立体駐車場があるビルです）
 所在地 西宮市六湛寺町3-1

3. アクセス 阪神西宮駅（市役所口）が便利です。（徒歩約2分）

4. 売上げの使途

当団体は、災害救援活動を行っています。最近では、西日本豪雨災害、九州北部豪雨、熊本地震、東日本大震災など被災地の支援活動を行っています。売上げは、これら災害の被災者の直接支援活動資金やコーディネートなど間接経費として使用させていただきます。

5. 2020年カレンダーの受け入れについて

- * 不用となった2020年のカレンダーを下記により受入れさせていただきますので、ご協力下さい。

尚、2019年以前の古いカレンダーのご送付は、ご遠慮ください。

- * 誠に勝手ながら、会場の都合によりカレンダーの受入れ日を次のように指定させていただきますので、ご了承下さい。

● 必ず期日指定でお送りくださるようご協力お願いします。

尚、送料は、ご負担下さいますようお願い申し上げます。

【受入日】 2020年1月8日（水）・9日（木）の2日間 10時～16時

【送付先】 〒662-0918 西宮市六湛寺町3-1

西宮市役所東館8階 ロビー 気付

認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク 宛

電話 0798-34-9011

- * 収容スペースが非常に狭くなっているため、受け入れ数量を下記の通り制限させていただきますので、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

**1企業あたり カレンダー100部以内（内、同一のカレンダーは、50部以内）
卓上カレンダーは、50部以内**

- * ノート型日記帳、小手帳等は制限なしで受け入れさせていただきます。

- * カレンダー受入れについてのお問合せ先

認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク

電 話 0798-34-9011

FAX 0798-34-9022

6. ボランティアスタッフ募集

日程 下記の通りです

場所 西宮市役所東館8階 大ホール・ロビー（公共の駐車場のあるビルです）

月・日	時間	作業内容
1月8日（水）	13:00～19:00	①各地から送られてきた荷物（カレンダー）の受け入れ、開封、取り出し、分類作業等 ②会場設営（大ホール）
1月9日（木）	10:00～18:00 午前 10:00～13:00 午後 14:00～18:00	①各地から送られてきた荷物（カレンダー）の受け入れ、開封、取り出し、分類作業等 ②会場設営（大ホール）
1月10日（金）	9:00～18:00 午前 9:00～13:00 午後 13:00～18:00 12日は～17:00 （交代で休憩）	カレンダーの販売（カレンダーの補充等を含む）
1月11日（土）		カレンダーの販売（カレンダーの補充等を含む）
1月12日（日）		カレンダーの販売は、14:00まで、終了後会場からロビーへ撤収作業、会場（大ホール）の後片付け、清掃、机椅子などの整理、一部のカレンダー及びリサイクルできないものを1階へ搬出作業
1月13日（月） 祝日	9:30～12:00	会議室、会場（ロビー）の後片づけ、清掃及び不用となったカレンダーの梱包、1階へ搬出作業等

* カレンダー市をお手伝いいただけるスタッフ（ボランティア）を募集しています。

* 難しい作業はありません。年齢・性別も問いません。楽しく、誰でもできる作業です。

* 半日のお手伝いでもOK。

* カレンダーの持ち帰りについて

・カレンダー、日記帳などすべてについて、持ち帰り禁止としますので、ご了承ください。

但し、お手伝いいただいた方については、カレンダー引換券をお渡しいたします。

引換券は、カレンダー市開催当日（1月10.11.12日）の12時～終了時間までの間、ご使用いただけます。

* 申込み方法、締切り

・上記ご理解の上、事務局までご連絡をお願いします。

・締め切りは、12月14日（土）です。

* 事務局 認定NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク

電話 0798-34-9011

FAX 0798-34-9022

カレンダー市とは

企業等では、不用となった大量のカレンダーが処分されている一方で、当時、阪神・淡路大震災の被災地では、欲しいと思ってもカレンダーが手元に届かない状況がありました。必要とする方に不用となったカレンダーを提供したい。そのような思いで1997年から「チャリティカレンダー市」を開始しました。

「チャリティカレンダー市」を始めたもう一つの理由は、地球温暖化など環境問題がクローズアップされるなか、カレンダーの紙は樹木が原料であることに着目し、紙を樹木に

戻す運動にしようと考えました。カレンダー市をはじめた当初は「みどり1本運動」と称し、売り上げは、植林活動を行っている団体等に寄付しておりました。現在は、近年多発している災害に対応すべく、東日本大震災をはじめ国内外の災害救援支援活動に使わせていただいています。

また、余ったカレンダーは、被災地の仮設住宅等にお届けしています。

また保育園、幼稚園、病院、介護施設関係などで活用させていただくほか、リサイクルに出すなど有効に使用させていただいております。

皆様のご理解、ご協力をお願い申し上げます。